

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業 点検・評価調書

4-IV-11

4-IV
-11

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	地域の「語り部」育成		
	節	IV ホスピタリティの醸成		事業主体	佐渡市社会教育課	
		事業(施策)名	11 地域の「語り部」育成支援		関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡市観光振興課、佐渡を世界遺産にする会
		事業実施期間	H28～R4			
事業概要	【事業目的】	○佐渡金銀山にまつわる言い伝えや地域文化等を地域の子どもや来訪者に紹介する「語り部」を育成し、郷土愛の醸成と地域の魅力発信を図る。				
	【事業内容】	○島内各地の公民館講座で、「語り部」育成講座を設置し、保育園、学校、宿泊施設等での発表機会を設ける。				
30 事業 計画 と 実績	【30年度計画】	●公民館講座・活動の中で、佐渡金銀山に関する寸劇や語り部活動を自主講座参加者の方々を中心に実施する。				
	【30年度実績】	●公民館自主講座の中で、佐渡金銀山に関する語り部等は実施できなかった。				
課題・ 今後の 取組	【課題】	■地域の民話語り部は、高齢化、後継者不足等の問題により活動が困難だが、他団体を活用することにより、事業の継続を模索する必要がある。				
	【今後の取組】	■他団体の協力を得ながら、佐渡金銀山にまつわる言い伝えや地域文化等を、地域の子どもや訪問者に紹介する「語り部」の育成を行えるよう努力する。				
事業 評価	【事業の達成度】	◇地域の民話語り部は、事業計画に沿った実施は難しい状況であり、十分な成果が得られない状況である。 今後は、他団体等への声かけをしながら語り部の育成に努める。				
	【事業実施の効果】	[a・b・(c)]				
	【総合評価】	[A・B・(C)]				

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。